

女性会員中心の六次産業化支援で 内閣府「女性のチャレンジ支援賞」受賞

公益社団法人大野市シルバー人材センター（福井県） 事業課長 山田歩弓

福井県の西側に位置する大野市は、四方を山々に囲まれた自然豊かなところで、名水百選にも選ばれたおいしい水、大野の風土から生まれるおいしい食に恵まれた、美しいまちです。

大野市SCの特徴

大野市SCは「人生百年 生涯現役 大野人」をモットーに、会員一人一人の経験と知恵を生かして「大野らしさ」を大切にしたいと、七の独自事業に取り組んでいます。令和二年度の会員数は六百二十三人で、女性会員比率は五四・四％と、設立当初から女性会員が多いのが特徴です。

独自事業の中核を担う 農業の六次産業化を推進

生涯現役で活躍できる機会を提供するシルバー人材センター事業の特徴を生かし、当センターでは女性会員を中心とする農業の生産加工、流通、販売までの六次産業化を推進してきました（本誌令和二年五月号「特集〈事例〉掲載」。平成十四年開設の直売所「ねんりの里本店」のほか、対面販売で二店舗、インショップ（非対面）で一店舗と事業を拡大し、販売力の強化を図りました。食品加工施設を二か所に増やし、直売所に集まる新鮮な農作物を使

用した弁当、みそ、梅干し、栗赤飯や山菜おこわなど季節を感じる郷土料理を手掛けて、直売所の人気商品を生み出しました。昔ながらの手作りの味、を後世に伝えることは、大野の食文化の継承にもつながっています。

これらの事業を支えているのが、大野の名水と風土で育った自慢の農作物です。会員約百八十人が育てた新鮮な野菜を、毎朝直売所や加工施設に届けています。

自慢の農作物や地元の食材をもっと多くの人に楽しんでもらいたいと考え、「大野らしいおもてなし」をコンセプトに、平成二十七年にお休み処「ねんりん茶屋のーそん」

女性会員の活躍の場を拡大

令和二年度の六次産業化事業の契約金額は約四千四百万円と、独自事業のおよそ八九％を占め、百六十一人の女性会員が生き生きと活躍しています。この中の六十五人が後期高齢者で、最高齢は八

十八歳です。

このように大野市SCは、何歳になっても自分の経験と知恵を生かし輝き続けることができる場所、多くの仲間との交流によって「生きがいを持ち」「やりがいを感じる」ことのできる場所をつくり続けてきました。

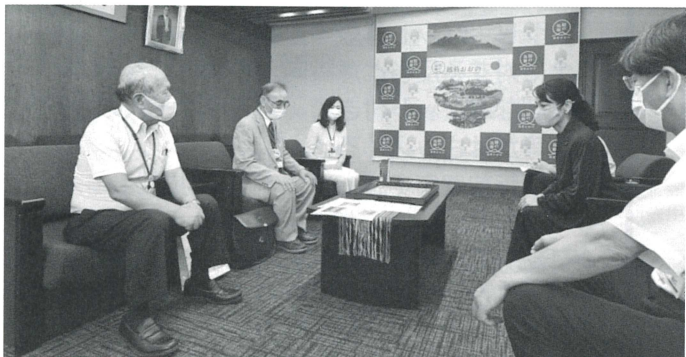
柔軟で活力ある 挑戦が評価される

六次産業化への取り組みを積極的に支援することで、特に女性高齢者が就労する機会や環境を整備し、「女性が生涯現役で誇りを持って働ける機会（事業）の実施」に努めました。

こうしたチャレンジを支援してきた当センターの活動が評価され、内閣府の令和三年度「女性のチャレンジ支援賞」を受賞しました。厚生労働省からの推薦で、福井県およびシルバー人材センターとしても、初の受賞となり、身の引き締まる思いで、皆と喜びを分か



令和3年7月20日にオンラインで開催された「丸川大臣と女性のチャレンジ賞受賞者との意見交換会」。画面中段右から2人目が丸川珠代内閣府特命担当大臣（男女共同参画）



令和3年8月2日に、石山志保大野市長を表敬訪問し、受賞の報告を行った。写真右から時計回りに石山志保大野市長、堂下昭仁大野市地域経済部部長、大野市SCの田中一郎事務局長、小野田理夫理事長、山田歩弓事業課長

ち合いました。あらゆる困難や問題を乗り越え、重ねた努力が実を結んだ瞬間でした。

丸川大臣と大野市長から うれしい言葉をいただく

七月二十日、オンラインで開催された「丸川大臣と女性のチャレンジ賞受賞者との意見交換会」に

参加しました。丸川珠代内閣府特命担当大臣（男女共同参画）（当時）から、「シルバー人材センターは受け身のイメージがありました、自らで活躍の場・事業をつくり出されていることは素晴らしいです。多様な広がりのある六次産業化、アイデアを皆さんで持ち寄り、より多くの方々が関わっていただけ

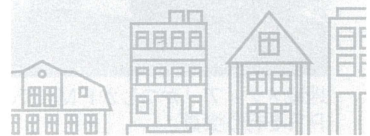
る場となることを心から願っています」と、うれしい言葉をいただきました。

八月二日に、石山志保大野市長を表敬訪問して、受賞の報告をしました。石山市長は「大野市SCの取り組みが、大野市に元気を与えてくださっている。とても感謝しています」と、今回の受賞を一緒に喜んでいただきました。

これからの事業展開

今年四月にオープンした道の駅「越前おおの 荒島の郷」に、郷土の味が楽しめるテークアウト店「ココ・のーそん」を出店。新たに女性会員十人が入会し、さらに活躍の場が広がっています。

私たちはこれからも、学びがいのある仕事を提供し、多くの女性の方を、地域のために生かせる仕組みに磨きをかけていきます。そして「人と人をつなぐシルバー人材センター事業」を極めるための挑戦を続けていきます。



大野市SCでは、女性会員を中心とした六次産業化に対する取り組みを支援していることが評価され、内閣府の令和3年度「女性のチャレンジ支援賞」を受賞した